



高速料金割引実験【結果発表】12.10~50金

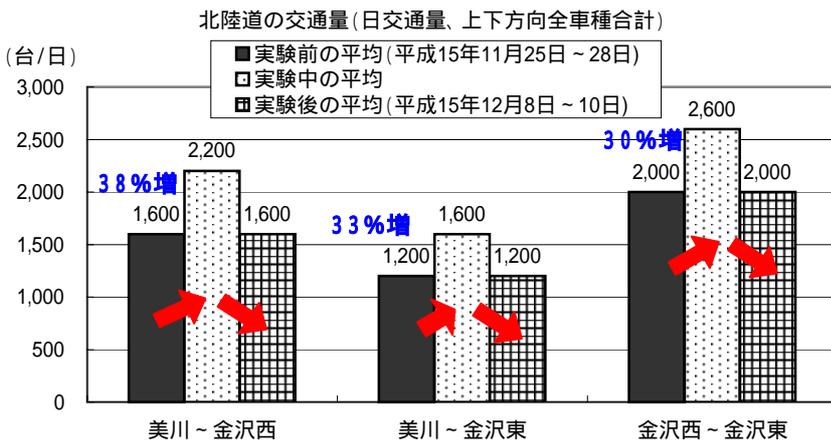
~北陸道 美川I.C~金沢東I.C~

-30%off

実験中における北陸道の当該区間のみを利用する交通量は前週比3割~4割増
 実験中、国道8号、国道157号の交通量は約2%減
 実験後は実験前と同じ交通量に
 国道8号諸江交差点の渋滞長が最大約30%減、渋滞継続時間は60分から20分と1/3に
 金沢東IC付近では旅行速度が約50%向上

1. 北陸道における交通量の推移 (対平成15年11月比)

- ・北陸道の当該区間のみを利用する交通量は実験の前週と比較すると約30%増加。
- ・実験の前週と実験後を比較すると、交通量は同水準に戻っている。



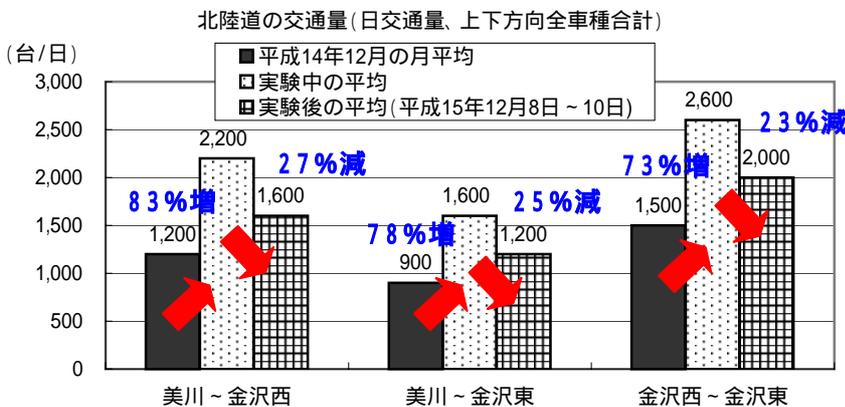
上に同じく北陸道の交通量は、実験の前週(平成15年11月25日~28日)の平均と比較すると約3割から4割増加している。実験後は実験前と同水準に戻っている。



出典: JH北陸支社調べ

【参考】北陸道における交通量の推移 (対平成14年12月比)

- ・前年と比較すると実験中の交通量は大幅に伸びている。
- ・前年と実験後を比較すると、実験後のほうが交通量が多い。



北陸道の交通量は、昨年12月の平均と比較すると約7割から8割増加している。実験後は約2割から3割程度減少している。



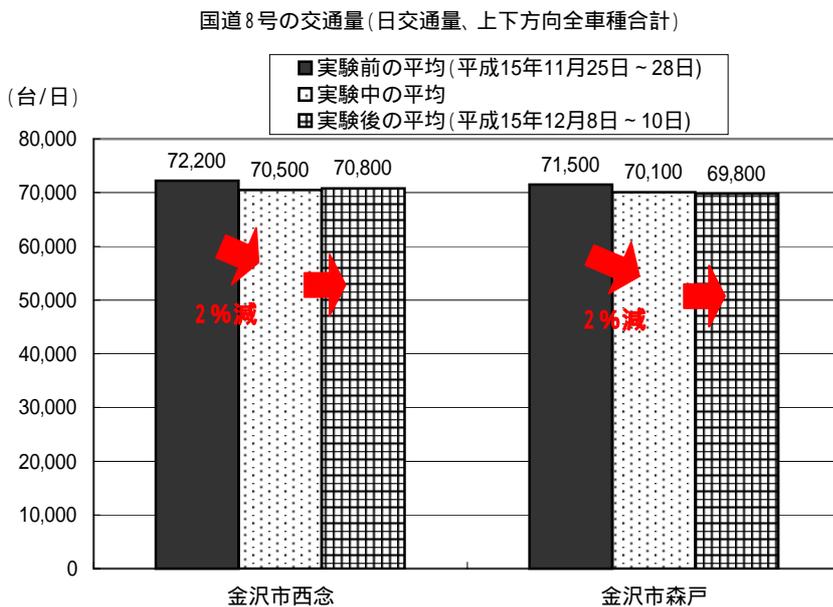
出典: JH北陸支社調べ

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所
 調査第二課長 中前 電話(076)264-8800 内線451
 住所: 石川県金沢市西念4丁目23番5号

2. 一般道における交通量の推移について

(1) 国道8号(金沢市西念及び金沢市森戸)

- ・国道8号の交通量は実験前と実験中を比較すると約2%減。
- ・実験後は実験中とほぼ同数の交通量で推移している。

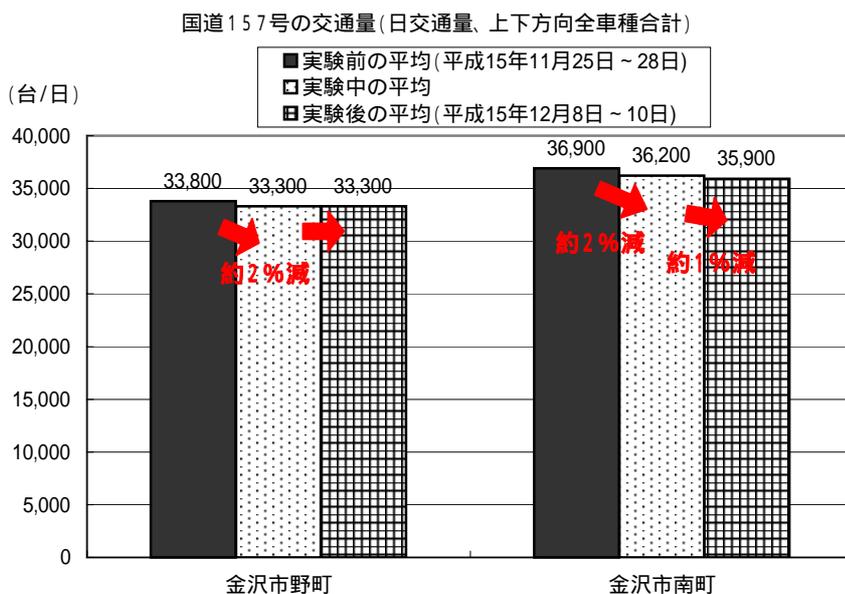


国道8号の交通量は、実験前週の平均(平成15年11月25日～28日)と比較すると2%減少している。実験後は実験中とほぼ同じ交通量となっている。



(2) 国道157号(金沢市野町及び金沢市南町)

- ・国道157号の交通量は実験前と実験中を比較すると約2%減。
- ・実験後は実験中とほぼ同数の交通量で推移している。
- ・金沢市の中心市街地を通る国道157号でも国道8号と同様な交通量変化であった。



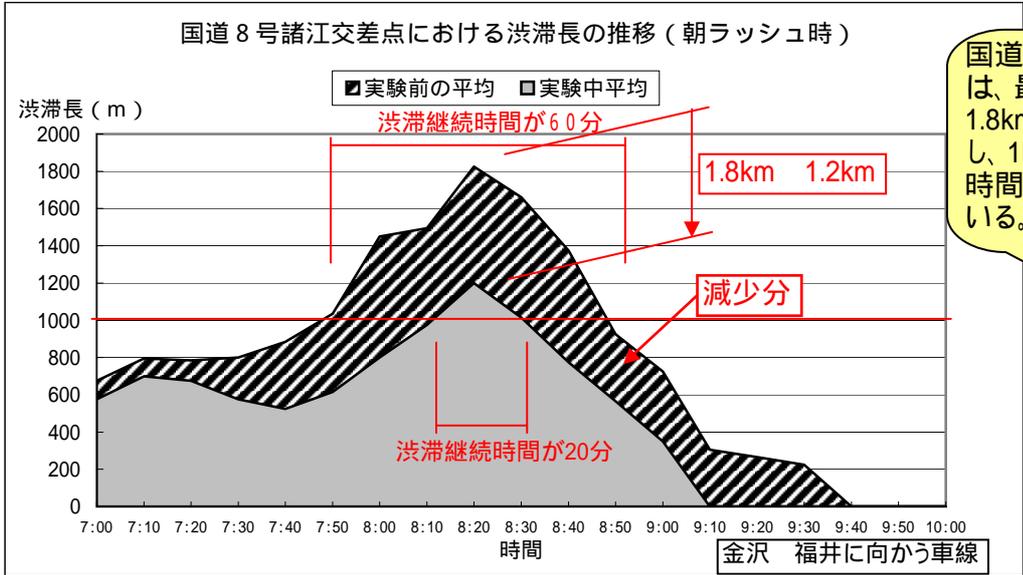
国道157号の交通量は、実験前週の平均(平成15年11月25日～28日)と比較すると約2%減少している。実験後は実験中とほぼ同じ交通量となっている。



3. 国道8号諸江交差点における朝ラッシュ時の渋滞について

- ・朝ラッシュ時（7時～10時）の渋滞長が最大約1.8kmから約1.2kmへと約30%減。
- ・1km以上渋滞の継続時間が60分から20分へと1/3に減少。
- ・諸江交差点では通過にかかる時間が最大約10分から約6分に減少。

(1) 諸江交差点における渋滞長の推移

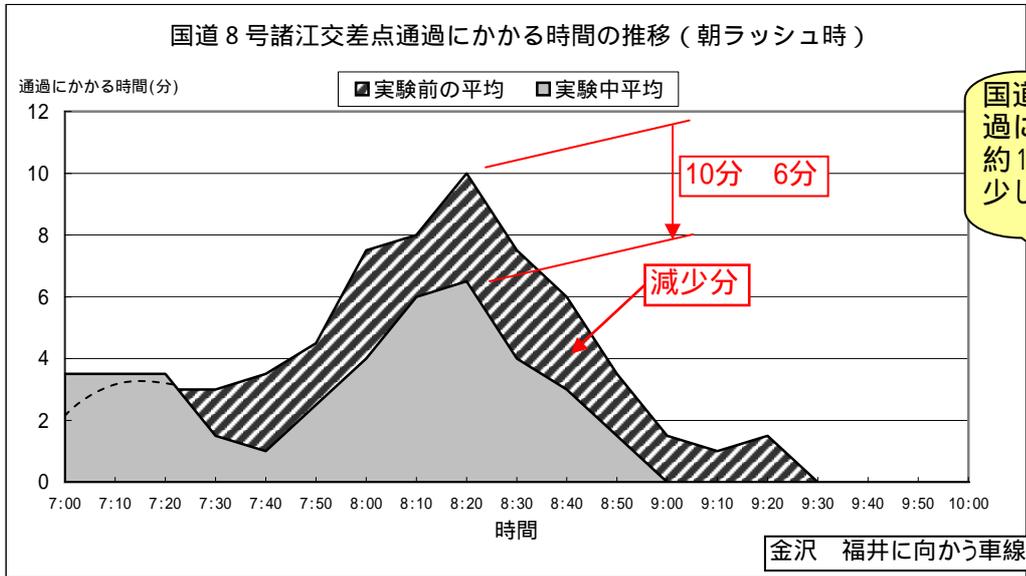


国道8号諸江交差点では、最大渋滞長が約1.8kmから約1.2kmに減少し、1km以上の渋滞継続時間が1/3に減少している。



出典：国土交通省調べ

(2) 諸江交差点通過にかかる時間の推移



国道8号諸江交差点通過にかかる時間は最大約10分から約6分に減少している。



出典：国土交通省調べ

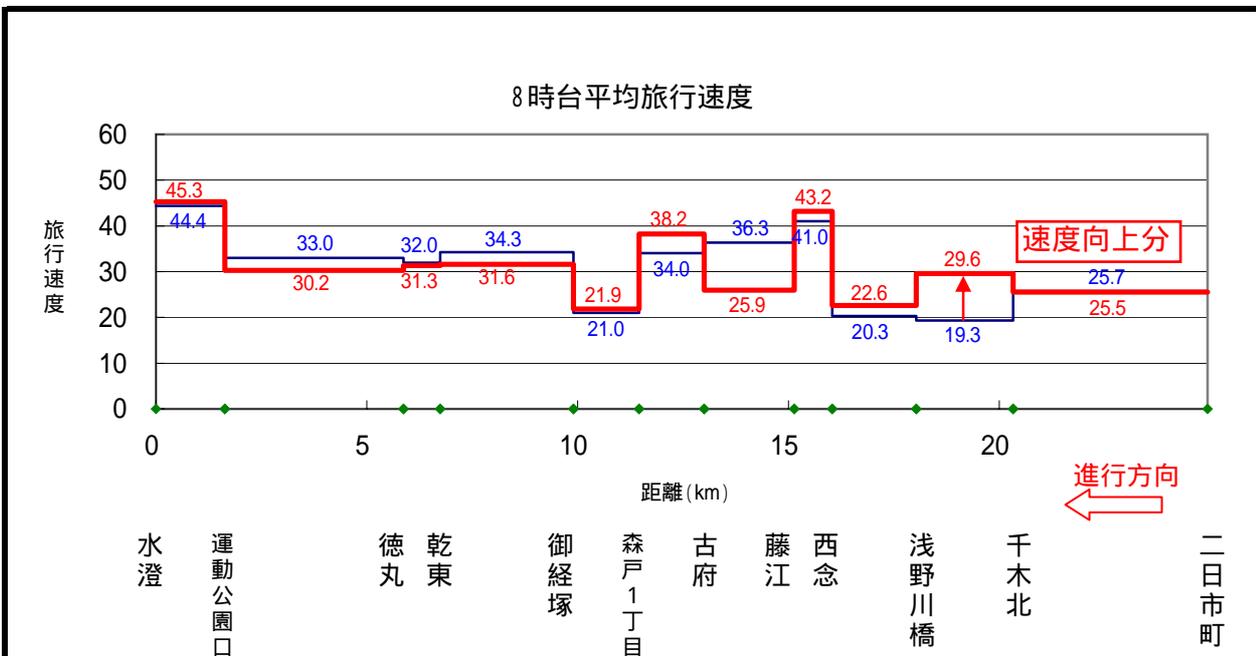
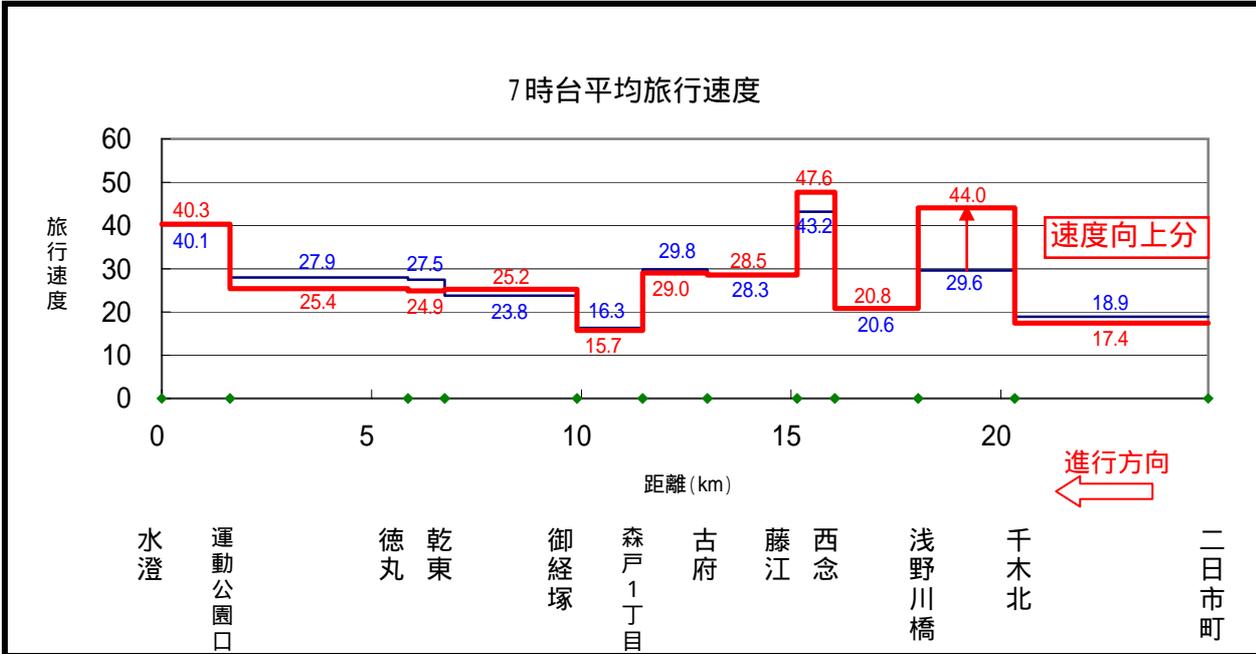
4. 国道8号の旅行速度について

- ・浅野川橋～千木北交差点（金沢 福井方向）では旅行速度が約50%向上。
- ・野々市、松任地区の旅行速度はあまり変化せず。
- ・松任市水澄町～金沢市二日市町間における平均旅行速度は約30km/hであり、実験前と実験中ではあまり変化せず。

国道8号（下り：金沢市二日市町交差点～松任市水澄交差点）

実験前調査日	平成15年11月26日(水)	平成15年11月27日(木)
実験中調査日	平成15年12月2日(火)	平成15年12月4日(木)

	実験前平均
	実験中平均



国道8号では、浅野川橋～千木北間（金沢東IC周辺）の旅行速度が大幅に向上している。

